



立春って？



立春とは二十四節気の1つで季節をあらわす言葉です。旧暦では立春は新年の始まりをさし、お正月のようなものでした。

立春の早朝に禅寺では厄除けのため、立春大吉というお札を貼り厄を遠ざけるという意味をもたらし一年間平穏無事に過ごせるように願いをかける行事を行います。

また、暦の上では冬が終わり春の訪れを告げるといわれており「いよいよ春が近づいてきますよ。」と言った意味があるようです。

建国の日 2月11日

この日は、第二次世界大戦の年まで「紀元節」として祝われていた日にあたりますが、この祝日は紀元節を復活させたものではなく、全く別に新しく制定されたものです。

日本の国ができたこと、そして国を愛し、同時に国民一人ひとりが国の発展を考える日として、昭和41年12月9日にこの日が定められました。子どもたちには日本の国のお誕生日であることを伝え、世界にはいろいろな国があって、みんな仲良く暮らしていると言うことを感じ、日本についても考えていくことができる子どもになってほしいと願っています。

皆様のご協力をお願いいたします

駐車場が手狭なため、混み合っご迷惑をおかけしています。ルール・マナーを守って利用していただきますようよろしくお願いいたします。

- ・長時間駐車することのないよう、送迎時は速やかにお願いいたします。
- ・奥から詰めて駐車してください。
- ・危険ですので、お子様から目を離さないようにお願いします。

おもしろい楽しい

ついこの間年が明けたかと思えばもう2月。紅梅、白梅が彩どりを添えて春の訪れももう間近です。

先日、こんな記事を目にしました。「新学習指導要領の告示が間近となりました。新教育課程の特色は、開かれた教育課程、アクティブ・ラーニング、カリキュラム・マネジメントなどとカタカナで説明されています。また『平成28年度版科学技術白書』には「超スマート社会」の到来を掲載しています。2035年頃には、IOT（インターネットを介してあらゆるモノがつながること）、BD（ビッグデータ）、AI（人工知能）でサイバー空間と現実空間が融合する社会が訪れるとし、未来家族の姿を「AIが献立を提案、ロボットが料理」…中略…などとしています。社会のあらゆる分野が大きく変わっていきます。子どもたちは、こうした時代を生き抜いていかなければなりません。2035年頃と言えは18年後で、もうすぐです。子どもたちはこんなに感情豊かなのに、まるでAI（人工知能）に支配され機械的な世の中になってしまうのでしょうか、想像もつきません。

お正月を過ごした子どもたちは、あれからもまだまだお正月あそびが続き、自分たちで作ったお手製のカルタに夢中です。

大きい子どもたちのクラスでは読み手が、声を発した途端にもうカルタに手が伸びていき、なかなかのものです。2歳児では、動物さんなどのペアのカルタに自分たちが色塗

りしたものを並べるのですが、それをぐるっと取り囲む姿は真剣そのもの。私もグループに入れてもらったのですが、最後の頃、遠慮して少ししか手がない私を見て「少ないからこれあげる」

「え～？いいの」「うん」こっくりうなづく姿に感動！なんと優しい。ついこの間までひっかいたりひっかかれたり、「かして」の言葉に「いや、いや」の連発だったあの子たちがこんなに大きくなって感激です。

人工知能に支配されない心豊かな未来を信じ、今しっかり目の前の子どもたちと向き合っていきたいと思えます。

今日もあちらこちらで「感触あそび」を楽しむ姿が見られています。先日の大雪では、氷のかけらを手にとり、太陽に透かしてみたり、生まれて初めての雪を触ってみたり…

もうすぐ幼児組の仲間入りをするらいおん組さん。憧れのぼたん組が遊んでいる油粘土で遊びます。初めはちょんちょんとつついてみたり…でもそのうち「ぎゅっ」と握ると形が変わる不思議さを発見したり…

これからもさまざまな感触を味わう経験を積み重ね、好奇心を育てていきたいと思っています。

インフルエンザがまだまだ流行しています。特に乾燥には要注意！加湿器などを上手に使い湿度を保ちながら、寒い冬を元気に乗り切りたいものです。

段原みみょう保育園 園長

雪あそび… たのしかったよ！！

先月は急に気温が下がり全国的に寒波が訪れたこともあり、例年になく雪がたくさん降り、道路も園庭も比治山の木々もすっぽり雪をかぶって真っ白でした。早速子どもたちは、屋上にでかけ、たっぷり「ゆきあそび」を満喫しました。



つめた～い！



おおきいね

寝転んでみたよ…



雪合戦



雪だるまづくり



保護者アンケートの依頼について

平成28年度も残りわずかとなりました。今年度のふりかえりと次年度に向けて資質向上のため、保護者の方がたへ意見をいただき、より良いサービスにつながるよう職員一同取り組んでいきたいと思っています。

子どもたちにとってはもちろんのこと、保護者の皆さんにとっても、また、地域の皆さまにとっても、より質の高い保育を行うために参考にさせていただきたいと思っています。なお、無記名でお答えいただくため、お名前や回答の結果が漏れることはありませんので安心してご記入ください。

回収箱を2階ふれあいのひろば前に置いておきますので、ご提出くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先 南消防署警防課
電話 261-5181

